



**厚労省や県の病院再編方針の撤回を求めよ**  
橋爪 法一（日本共産党議員団）



**問**／新型コロナウイルスの問題がある中で、公立、公的病院再編統合問題は放っておけない。今、病院の在り方を考える際にどういう視点が必要か専門家に聞いたところ、「ベッド数の確保」「病院の分散配置」「効率優先はダメ」の3つだった。方針の撤回を求めるべきと考えるが、市長は上越地域の病院についてどう考えるか。

**答**／上越地域医療センター病院は、私たちの病院として残す必要がある。柿崎病院は頸北地域の医療の守り手としてしっかり県が運営してほしい。今後動きがあれば強い思いで対応したい。

**病院や介護施設のオンライン面会実現を！**

**問**／新型コロナウイルスの影響で病院や介護施設等にいる家族と会えず、死に目に会えない人がいる。こんな非人間的なことはないと思う。せめて顔を見て言葉を交わせるオンライン面会ができるよう支援してほしい。

**答**／既に導入済みの施設も一部あり、設備・機器の整備等の直接的な支援を行う予定はないが、最小限の経費で行える事例の紹介など協力していく。



**コロナウイルス流行時の保育園等への対応は**  
安田 佳世（無所属）



**問**／今後市内で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、子どもの命を第一に考え、必要な保育を確保しつつ、保護者にできる限りの登園自粛を要請する必要があると考えるがどうか。

**答**／これまで市内での感染の発生が限定的であり、保育園の目的を踏まえた上で、登園自粛の要請や協力要請は行わなかった。今後も、これまでの取組を基軸に、総合的に判断していく。

**より良い乳幼児教育・保育のために**

**問**／乳幼児教育・保育に関わる行政窓口を一つにすべきと考えるがどうか。

**答**／保育園及び認定こども園については健康子育て部、幼稚園については教育委員会が担当しているが、窓口を一元化する考えはない。

**問**／市立保育園の民営化によって縮減した経費は、どのような子育て支援に振り向ける予定か。

**答**／保育環境の充実、多様な保育サービスの提供、子どもの居場所づくり等を想定している。

**直江津の活性化を！**

**問**／今年の夏に無印良品の outlet が決まっているが、直江津の活性化についてどう考えるか。

**答**／様々な刺激を契機とし、関係企業、地域の商店街の皆さん、行政が相互に協力し合い、前向きに取り組んでいきたい。



**新型コロナ禍における労働者保護は**  
平良木 哲也（日本共産党議員団）



**問**／新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非正規労働者の不当な解雇・雇止めの実態把握と事業者への指導をどのように強化してきたか。

**答**／市への相談に対し、丁寧に内容を聞き、上越労働基準監督署に相談をつないでいる。

**問**／困っている人の状況把握とともに、支援制度や労働法の周知をすべきではないか。

**答**／これまで労働週間等の機会に労働法の周知をしてきたが、今後は日常的に周知に努める。

**臨時休業中の昼食代の支援は**

**問**／臨時休業中の進要保護児童に昼食代の支援を行う自治体があるが、当市はどうか。

**答**／毎月の給食費の実績額を支給しているので、家庭での昼食費の支給は考えていない。

**問**／就学援助は、どんな家庭の子でも元気に登校できる環境を整えるためにあるのではないか。

**答**／現在は就学援助の対象ではないと判断し、他の形での支援ができればと考えている。今後は一つ一つ状況を見ながら検討する。

**住宅リフォーム事業は継続すべき**

**問**／住宅リフォーム促進事業は廃止する経済状況にはなく、改善の上、継続すべきではないか。

**答**／制度改善の必要性は感じている。可否を含めて、今後の経済状況を見ながら検討していく。